

D₃+・D₃+5000



ビタミンDの作用は、カルシウムのホメオスターシスや骨量維持がよく知られていますが、それだけではありません。血中Ca濃度の維持、小腸粘膜上皮細胞の成熟の促進、皮膚の角化の正常化、免疫系の賦活、細胞増殖阻害作用等、多くの働きがあります。ビタミンDの体内動態を反映するのは血中25-(OH)D₃濃度ですが、30ng/mlを下回るとPTH濃度が上がり始めることがわかっています。ビタミンDは、日本人には不足しているビタミンのひとつです。初診時の95%以上で血中25-(OH)D₃濃度は低値(<30ng/ml) だったというデータがあります(新宿溝口クリニック:未発表)。血中25-(OH)D₃濃度の検査をお勧めします。

こんな方にお勧めします

- ▶ **花粉症・アレルギーが気になる方**
- ▶ 免疫力をアップしたい方
- ▶ がんの治療、予防
- ▶ 血糖コントロールが不良な方
- ▶ うつ、統合失調症の方
- ▶ アルツハイマー、パーキンソンが気になる方
- ▶ 皮膚にトラブルがある方 など

期待される疾患

遺伝子を介した多くの作用によって、さまざまな疾患に対する効果が期待されています。



Topics

～ビタミンDの話題・いろいろ～

新生児のVD欠乏を予防するために妊婦のVD補充は有効である。
安全量の目安: 妊娠前 3000~5000IU
妊娠中 2000~4000IU
Clinical Endocrinology (2015) doi:10.1111/cen.12762

1日VD1200IU摂取によりインフルエンザ発症を42%抑制した。
Am J Clin Nutr 2010 May;91(5):1255-60

風邪の諸症状を報告する率は1/3へ軽減、風邪の発症の季節性変動が無くなる、最後の1年間2000IU/dayの投与によって風邪の諸症状の報告が完全になくなった。
Virology Journal 2008, 5:29 John Cannell, et al

VDIはヒト単球において抗菌作用に關与する。
Science 311, 1770-1773, 2006 Lir PT, Stenger S, Li H, Wenzel L, et al

アトピー性皮膚炎(ADと略す)患者の皮膚では、カテリシジンが欠乏していることが明らかになった。その結果、経口ビタミンDが自然免疫機能を改善する可能性が指摘され、ビタミンD投与によりADの改善を呈することが示唆されている。
Hata TR, Kotoi P, Jackson M, et al. J. Allergy Clin Immunol. 2008. Oct ;122(4):829-831.

体内のビタミンD濃度が高い女性では体外受精の妊娠率が上昇していた。卵液中のビタミンD濃度が1ng/ml高くなると、妊娠率が6%増加することがわかった。
Fertil Steril 2010;94:1314

第11期分子整合栄養医学講座「ビタミンD」他

D ₃ +	標準成分 <1粒 (405mg) 中>	原材料
	ビタミンD ₃ ----- 1200IU EPA ----- 1.5 mg DHA ----- 1.94 mg	精製魚油、ビタミンE含有植物油、ひまわり油、ミツロウ、グリセリン、脂肪酸エステル、ビタミンD、β-カロテン、<被包材>ゼラチン、グリセリン
D ₃ +5000	標準成分 <1粒 (415mg) 中>	原材料
	ビタミンD ₃ ----- 5000IU EPA ----- 1.5 mg DHA ----- 2.0 mg	精製魚油、ビタミンE含有植物油、ひまわり油、ゼラチン、グリセリン、ミツロウ、グリセリン脂肪酸エステル、ビタミンD、β-カロテン、<被包材>ゼラチン、グリセリン

サプリメントハイライト

本製品のビタミンD₃は、羊毛抽出とタラ肝油からの精製魚油を基に配合しています。タラ肝油に含まれるEPA、DHAも摂取できます。成分を酸化から保護するビタミンE、βカロテンを配合しています。D₃+5000は、D₃+をさらに高容量にしました。1粒で5000IUのビタミンD₃が摂取できます。粒の大きさは、D₃+と同じです。短時間で血中濃度を上げる必要がある時に最適です。